

(様式1)

申請日：(西暦) 年 月 日

一般社団法人 日本精神薬学会 鍋島学術奨励賞 応募申請書

一般社団法人日本精神薬学会理事長 殿

下記の評議員の推薦と研究業績等をもって、一般社団法人 日本精神薬学会 鍋島学術奨励賞に応募致します。

応募対象

- ①薬剤師として勤務経験が1年以上、5年以下で40歳未満(フレッシュャー学術奨励賞)
- ②薬剤師として勤務経験が6年以上で40歳未満(ヤング学術奨励賞)

受賞候補申請者

・氏名：

・生年月日：(西暦) 年 月 日生(年 月 日現在 歳)

・所属機関および職名：

・学会入会年月日：(西暦) 年 月 日(会員歴 年)

1. 受賞候補申請者の履歴書(A4 1枚程度 書式自由：同封して下さい)

2. 推薦評議員の推薦理由(業績の背景、今後の展望を含めて)(500文字程度)

推薦評議員

(西暦) 年 月 日

ご所属

ご氏名

印

3. これまでの精神科薬剤師としての実務的・学術的な概要（1,000文字以内）
※アピールするポイントを明確に記載してください。

4. 今後の精神科薬剤師としての展望（1,000文字以内）
※アピールするポイントを明確に記載してください。

5. 原著論文（査読あり）・総説のリスト（下記の書式にしたがい、申請者氏名には下線）

1) 筆頭著者リスト

1. Yukihiro Noda, Akihiro Mouri, Mayu Ukai, Akira Yoshimi, Masayuki Taniguchi, Sho Hasegawa, Takahiro Ito, Hirotake Hida, Shohko Kunimoto, Kiyofumi Yamada, Norio Ozaki, Toshitaka Nabeshima. Juvenile social defeat stress exposure persistently impairs social behaviors and neurogenesis. *Neuropharmacology*, 133: 23-37 (2018)

2) 共同著者リスト

1. 内田美月、溝口莉菜、武藤利奈、亀井浩行、吉見 陽、野田幸裕. 向精神薬の SCAP 法を用いた減薬・減量に関するワークショップの有用性. *日本精神薬学会誌*, 2 : 108-115 (2019)

**6. 本学会総会・学術集会（筆頭演者と共同演者）と他の学術学会（筆頭演者のみ）での発表リスト
（下記の書式にしたがい、申請者氏名には下線）**

1) 本学会総会・学術集会

・筆頭演者リスト

・共同演者リスト

1. 吉田樹生、内田美月、鈴木千晴、毛利彰宏、吉見 陽、永井 拓、山田清文、尾崎紀夫、鍋島俊隆、野田幸裕：グルタミン酸作動性神経伝達および神経形態に対する幼若期社会的敗北ストレス負荷の影響．第 50 回日本神経精神薬理学会年会／第 42 回日本生物学的精神医学会年会／第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 合同年会（仙台）2021 年 8 月 21 日発表

2) 他の学術学会（筆頭演者のみ）

1. 野田幸裕：統合失調症の社会復帰に向けた薬物療法の概要．第 30 回日本医療薬学会年会（名古屋）2020 年 10 月 24 日発表